

## 食品安全委員会の運営について（令和7年10月～令和7年12月）

### 1. 食品安全委員会の開催

10月：第999回・1000回・1001回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（7品目）

農薬（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インダノファン（10/28）</li> <li>・トルクロホスメチル（10/28）</li> <li>・フェントラザミド（10/28）</li> <li>・フェンメゾジチアズ（10/28）</li> <li>・フロリルピコキサミド（10/28）</li> </ul>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Escherichia coli</i> K-12 W3110 (pWKLP2) 株を用いて生産されたプシコースエピメラゼ（10/7）</li> <li>・ KY10995/pAM7-122 株を利用して生産された 5-アミノレブリン酸リン酸塩（10/7）</li> </ul>

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（6品目）

薬剤耐性菌（1品目）	<p>・ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミシンS（静注用））に係る薬剤耐性菌（10/7）</p> <p><u>評価対象動物用医薬品が、牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来の畜産食品を介して人がハザードにばく露され、人用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できない。そのリスクを推定した結果、リスクの程度は低度であると考えた。</u></p> <p><u>薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、リスク評価の手法についても最新の知見を踏まえた見直しを随時行うことが重要と考えるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。</u></p>
動物用医薬品（1品目）	<p>・いのしし用の国産豚熱経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性（10/7）</p> <p><u>本製剤が適切な製造管理及び品質管理の下で製造が行われ、適切に使用される限りにおいては、本製剤を摂取したいのししに由来する食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u></p>
飼料添加物（3品目）	<p>・たん白質の加水分解により製造されたL-イソロイシンを原体とする飼料添加物（10/14）</p> <p><u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品</u></p>

	<p>を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・L-カルニチン（10/14） 動物用医薬品及び飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えた。</li> <li>・L-カルニチンを有効成分とする飼料添加物（10/14） 飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</li> </ul>
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョウ目害虫抵抗性ワタ MON15947 系統（10/28） 「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に基づき、改めて安全性の確認を必要とするものではないと判断した。</li> </ul>

(3) その他

- ・令和7年度食品健康影響評価技術研究の二次公募における採択課題（案）及び事前評価結果について（10/14）
- ・令和6年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果について（10/14）
- ・食品安全委員会の運営（令和7年7月～令和7年9月）について報告（10/28）

11月：第1002回・1003回・1004回（3回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（4品目、1案件）

飼料添加物（1案件、1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律第二条第三項の規定に基づく飼料添加物を定める件（昭和51年農林省告示第750号）の改正（11/11）</li> <li>・たん白質の加水分解により製造された塩酸 L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物（11/25）</li> </ul>
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Trichoderma reesei</i> RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼ（11/11）</li> <li>・ SGR5 株を利用して生産された 2'-フコシルラクトース（11/11）</li> <li>・ STC2208 株を利用して生産された <math>\beta</math>-ニコチンアミドモノヌクレオチド（11/11）</li> </ul>

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（7品目、1案件）

肥料・飼料等（1案件、	・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律第二条第
-------------	-----------------------------

1 品目)	<p>三項の規定に基づく飼料添加物を定める件（昭和 51 年農林省告示第 750 号）の改正（11/11）</p> <p><u>食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められた。</u></p> <p>・ けい酸加里肥料（11/25）</p> <p><u>適切に施用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u></p>
遺伝子組換え食品等（6 品目）	<p>・ 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統（食品）（11/11）</p> <p><u>「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統（飼料）（11/11）</p> <p><u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON94637 系統（食品）（11/11）</p> <p><u>「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON94637 系統（飼料）（11/11）</p> <p><u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u></p> <p>・ <i>Bacillus subtilis</i> NTI06 (pHYT2MPM) 株を利用して生産されたマルトースホスホリラーゼ（11/11）</p> <p><u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に基づき、導入遺伝子の供与体、導入される塩基配列が明らかであること等の導入遺伝子の安全性、導入遺伝子から産生されるタンパク質の毒性及びアレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかった。以上</u></p>

	<p>のことから、「<i>Bacillus subtilis</i> NTI06 (pHYT2MPM) 株を利用して生産されたマルトースホスホリラーゼ」は、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p> <p>・高オレイン酸含有ダイズ DP-305423-1 並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ 44406 系統の掛け合わせ品種 (11/25)</p> <p>「<u>遺伝子組換え食品(種子植物)に関する食品健康影響評価指針</u>」における、安全性の確認を必要とする掛け合わせに該当し、「<u>遺伝子組換え食品(種子植物)に関する食品健康影響評価指針</u>」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p>
--	---

(3) その他

- ・令和6年食中毒発生状況の概要について (11/11)
- ・令和8年度食品安全モニター募集について (11/25)

12月：第1005回・1006回・1007回 (3回)

(1) 食品健康影響評価の要請案件 (9品目、1案件)

農薬 (8品目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アシノナピル (12/16)</li> <li>・イプトリアゾピリド (12/16)</li> <li>・キザロホップエチル及びキザロホップ P テフリル (12/16)</li> <li>・ピフルブミド (12/16)</li> <li>・ピロキロン (12/16)</li> <li>・フェンメディファム (12/16)</li> <li>・メトラキシル及びメフェノキサム (12/16)</li> <li>・メトラクロール (S-メトラクロール) (12/16)</li> </ul>
遺伝子組換え食品等 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DN-E4 株を利用して生産された L-エルゴチオネイン (12/16)</li> </ul>
肥料・飼料等 (1案件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥料の品質の確保等に関する法律第3条第1項に基づく普通肥料の公定規格の改正について (被覆複合肥料) (12/23)</li> </ul>

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (7品目、1案件)

農薬 (6品目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スルホスルフロン (12/2)</li> </ul> <p>ADI を 0.24 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンチオピラド (12/2)</li> </ul> <p>ペンチオピラドの ADI を 0.081 mg/kg 体重/日、ARfD を 1.2 mg/kg 体重、ペンチオピラドの代謝物である 1-メチル-3-トリ</p>
----------	--

	<p>フルオロメチル-1<i>H</i>-ピラゾール-4-カルボキサミドの ADI を 0.0024 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断した。</p> <p>・キザロホップエチル及びキザロホップ P テフリル (12/16) グループ ADI を 0.009 mg/kg 体重/日、グループ ARfD を 0.3 mg/kg 体重と設定。</p> <p>・ピフルブミド (12/16) ADI を 0.0073 mg/kg 体重/日、ARfD を 0.09 mg/kg 体重と設定。</p> <p>・フェンメディファミン (12/16) 食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。</p> <p>・ボスカリド (12/23) ADI を 0.044 mg/kg 体重/日、ARfD を 3 mg/kg 体重と設定。</p>
<p>遺伝子組換え食品等 (1 品目)</p>	<p>・KY10995/pAM7-122 株を利用して生産された 5-アミノレブリン酸リン酸塩 (12/23)</p> <p>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性確認の考え方」(「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」別添)を準用して評価を行った結果、改めて「遺伝子組換え食品(微生物)の安全性評価基準」による評価を行う必要はなく、使用形態が現行と同等である場合に限り、比較対象とした従来食品と同等の安全性が確認されたと判断した。</p> <p>ただし、本評価は「KY10995/pAM7-122 株を利用して生産された 5-アミノレブリン酸リン酸塩」のリスクが従来食品に比して増加しないことを確認したものである。本食品に関するリスク管理措置を講じる際には、リスク管理機関において事業者に対し、設定した製品規格の適合遵守に加え、消費者の健康被害事例の収集等について、指導を徹底することが必要である。</p>
<p>肥料・飼料等 (1 案件)</p>	<p>・肥料の品質の確保等に関する法律第 3 条第 1 項に基づく普通肥料の公定規格の改正について (被覆複合肥料) (12/23)</p> <p>食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。</p>

## 2. 専門調査会等の運営（全36回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・専門委員の紹介、専門調査会の運営等について、座長の選出、令和7年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について、令和7年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について（11/12）
添加物	1回	・座長の選出・座長代理の指名（12/19）
農薬第一	3回	・クロチアニジン（10/27） ・ジノテフラン（11/27、12/22） ・チアメトキサム（11/27）
農薬第二	3回	・ニトラピリン（10/6） ・フェナザキン（11/10） ・フェンメゾジチアズ（12/15）
農薬第三	1回	・ピラクロストロビン（11/21） ・メトプロムロン（11/21）
農薬第四	2回	・ポスカリド（10/31） ・フロリルピコキサミド（12/1）
農薬第五	2回	・アラクロール（11/7、12/19） ・メタミトロン（12/19）
動物用医薬品	3回	・座長の選出・座長代理の指名（11/13） ・クロルマジノン（11/13、12/25） ・クロチアニジン（12/25）
器具・容器包装	1回	・座長の選出・座長代理の指名（11/28）
汚染物質等	1回	・座長の選出・座長代理の指名（11/14）
微生物・ウイルス	1回	・専門委員等の紹介、専門調査会の運営等（12/18） ・鶏肉中のカンピロバクターゲジュニ/コリによる健康影響について（12/18）
プリオン	3回	・専門委員等の紹介（10/16） ・牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し（SRMの範囲）（10/16、12/5、12/25） ・ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓（12/5）
かび毒・自然毒等	2回	・専門委員等の紹介、専門調査会の運営等について（11/10） ・オクラトキシンA（11/10、12/1）
遺伝子組換え食品等	4回	・座長の選出・座長代理の指名、遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種の取り扱いについて（10/22） ・ <i>Escherichia coli</i> K-12 W3110 (pWKL2) 株を用いて生産されたプシコースエピメラゼ（10/22） ・KY10995/pAM7-122 株を利用して生産された 5-アミノレブリン酸リン酸塩（10/22） ・SGR5 株を利用して生産された 2'-フコシルラクトース（11/20） ・STC2208 株を利用して生産された β-ニコチンアミド

		<p>モノヌクレオチド (11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Trichoderma reesei</i> RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼ (11/20)</li> <li>・ <i>Bacillus subtilis</i> NTI06 (pHYT2PsBG) 株を利用して生産された <math>\beta</math>-グルコシダーゼ (12/24)</li> <li>・ DN-E4 株を利用して生産された L-エルゴチオネイン (12/24)</li> </ul>
肥料・飼料等	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座長の選出・座長代理の指名、普通肥料の公定規格の改正 (けい酸加里肥料) (10/31)</li> <li>・ たん白質の加水分解により製造された塩酸 L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物 (12/18)</li> </ul>
評価技術ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座長の選出・座長代理の指名、令和5～6年度食品健康影響評価技術研究成果の報告等、食品健康影響評価におけるリードアクロスの活用について (10/3)</li> </ul>
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座長の選出・座長代理の指名、家畜に使用するキノロン系合成抗菌剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について (12/22)</li> </ul>
食事由来の化学物質のばく露評価ワーキンググループ	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座長の選出・座長代理の指名 (10/15)</li> <li>・ 食事由来の化学物質のばく露評価について (11/12、12/17)</li> </ul>
ビスフェノール A ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座長の選出・座長代理の指名、令和7年度食品安全確保総合調査 (ビスフェノール A に係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理) 第2回検討会の結果報告 (12/26)</li> </ul>

### 3. 意見交換会の開催等

#### (1) 講師派遣 (全5回、うち委員2回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
10/25	新潟県	令和7年度新潟県獣医師会公衆衛生部会研修会 「有機フッ素化合物 (PFAS) の食品健康影響評価について」 (祖父江委員)	新潟県獣医師会	新潟県獣医師会会員
11/28	長崎県	Asian Pacific Prion Symposium 2025 「日本における食の安全」 (山本委員長)	Asian Pacific Prion Symposium 2025	医療・研究機関関係者、食品安全行政関係者、大学研究者
12/8	滋賀県	授業科目：パブリックヘルス「食品安全委員会の仕事」 (事務局)	立命館大学	大学生
12/17	埼玉県	社会医学系－公衆衛生学実習	防衛医科大	大学生、教員

		「食の安全を守る仕組み～食品安全委員会の役割～」 (事務局)	学校	
12/19	兵庫県	PFASについて知り学ぶ勉強会 「PFASの食品健康影響評価について」 (事務局)	明石市	一般消費者

(2) 意見交換会等 (全2回)

開催日	内容		共催団体	対象
10/16	リスクコミュニケーション：「知って防ごう食中毒」 (事務局)		沖縄県	高校生
11/28	リスクコミュニケーション：身近な食品のリスク～今日から知って、考えて、行動しよう～ 「食品安全の基本とカフェインについて」 (事務局)		京都府	大学生

(3) 学会等ブース出展 (全2回)

開催日	開催地	学会名
10/16、17	東京都	日本食品衛生学会第121回学術講演会
11/1～3	神奈川県	日本動物実験代替法学会第38回大会

(4) 親子イベント等関係省庁との連携 (全1回)

開催日	開催地	イベント名	対象	共催団体
11/29、30	大阪府	みらいのたからばこ 2025 in 大阪 「食べものの安全ってなあに？親子で学ぼう！体験しよう！」(をテーマにブース出展)	児童 一般消費者	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

#### 4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■10月：13記事

閲覧数 (Facebook) 26,954 人/月、(ブログ) 2,788 人/月

投稿日	記事内容

10/ 1	9/30 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/ 3	<b>【食品安全委員会 9/29～10/3 の公表及び更新事項】</b>
10/ 7	10/7 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/10	<b>【食品安全委員会 10/6～10/10 の公表及び更新事項】</b>
10/14	10/14 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/17	食品安全委員会広報誌「食品安全」第 62 号を公表しました。 <b>【食品安全委員会 10/14～10/17 の公表及び更新事項】</b>
10/22	広報誌第 62 号の記事より：アニサキスのリスクプロファイル
10/23	<b>【食品安全委員会事務局 技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】</b>
10/24	<b>【食品安全委員会 10/20～10/24 の公表及び更新事項】</b>
10/28	広報誌『食品安全』第 62 号の記事より：アレルギーを含む食品（そば、えび・かに）のファクトシートの紹介 10/28 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/31	<b>【食品安全委員会 10/27～10/31 の公表及び更新事項】</b>

## ■ 11 月：12 記事

閲覧数 (Facebook) 人 8,318/月、(ブログ) 1,569 人/月

投稿日	記事内容
11/ 4	11 月は薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間です (第 1 回) 11/4 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
11/ 7	<b>【食品安全委員会 11/04～11/07 の公表及び更新事項】</b>
11/10	11 月は薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間です (第 2 回)
11/11	11/11 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
11/14	<b>【食品安全委員会 11/10～11/14 の公表及び更新事項】</b>
11/20	農薬の再評価に係る食品健康影響評価が進展しています。(広報誌第 62 号の記事紹介)
11/21	<b>【食品安全モニターの皆様からの報告を公表しました】</b> <b>【食品安全委員会 11/17～11/21 の公表及び更新事項】</b>
11/25	11 月は薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間です (第 3 回) 11/25 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
11/28	<b>【食品安全委員会 11/25～11/28 の公表及び更新事項】</b>

## ■ 12 月：15 記事

閲覧数 (Facebook) 33,437 人/月、(ブログ) 2,065 人/月

投稿日	記事内容
12/ 1	<b>【食品安全モニターの募集を開始しました】</b>
12/ 2	12/2 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12/ 3	食品安全モニター大募集!
12/ 5	<b>【食品安全委員会 12/1～12/5 の公表及び更新事項】</b>
12/ 8	内閣府食品安全委員会事務局庁舎移転のお知らせ
12/12	<b>【食品安全委員会 12/8～12/12 の公表及び更新事項】</b>
12/15	<b>【食品安全モニター大募集】</b>

12/16	12/16 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12/18	ノロウイルス食中毒の報告が増えています。食品の衛生に十分注意！
12/19	【食品安全委員会 12/15～12/19 の公表及び更新事項】
12/22	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 13, No. 4 を公開しました。 Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan” Volume 13, Issue 4 has just been published.
12/23	12/23 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12/24	肉を低温で安全においしく調理するコツ
12/26	【食品安全委員会 12/22～12/26 の公表及び更新事項】

(2) X (旧 Twitter)

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■10月：4記事

フォロワー 3,732人

投稿日	記事内容
10/17	食品安全委員会広報誌「食品安全」第62号を公表しました。今号には、農薬の再評価の進展、アニサキスのリスクプロファイル、アレルゲンを含む食品（そば、えび・かに）のファクトシートなどの食品安全委員会の活動の記事を掲載しています。是非ご覧ください。
10/22	広報誌「食品安全」第62号に、アニサキスのリスクプロファイルの公表記事を掲載しています。アニサキス症の概要、特徴、発生状況、予防策などをコンパクトにまとめています。アニサキスの情報を知って魚をおいしく食べるために是非ご覧ください。
10/23	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助及び情報収集を担当する技術参与を募集しています。 あなたの専門性を生かせる仕事です。 ご応募を心よりお待ちしております。
10/28	広報誌「食品安全」第62号に、「アレルゲンを含む食品（そば、えび・かに）のファクトシート」の記事を掲載しています。食物アレルギーに対しては、正確な情報の把握が大切です。広報誌の記事やファクトシートを是非ご活用ください。

■11月：5記事

フォロワー 3,778人

投稿日	記事内容
11/4	「薬剤耐性 (AMR)」問題をご存知ですか？薬が効かない細菌 (薬剤耐性菌) が増えることで、病気の治療が難しくなる問題です。薬剤耐性菌を減らすことは、国際的な課題であり、政府は、毎年11月を「薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間」と定め、薬剤耐性菌の拡大防止に取り組んでいます
11/10	11月は「#薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間」です。食品安全委員会は、家畜などに

	抗菌性物質が使われることで生き残り、増えた薬剤耐性菌が、食品を介して人に伝播し、人がその薬剤耐性菌を原因とする感染症を発症した場合に、人の健康にどの程度影響を及ぼすのかを評価しています
11/20	食品安全委員会は、農薬が使用された農作物を食べた者の安全について食品健康影響評価を行っています。広報誌「食品安全」第62号に、農薬の再評価や、リスク評価に使う試験結果の質や信頼性の確保のための取組について解説記事などを掲載しておりますので、是非ご覧ください。
11/21	日頃の生活の中で気が付いた #食品安全 に関する課題や問題点についての提案・報告を頂く #食品安全モニター からの報告をHPに掲載しました。 #アレルギー #リスクコミュニケーション などについてのご意見を掲載しています。
11/25	11月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です。政府全体としては、「薬剤耐性（AMR）アクションプラン」に基づいて、薬剤耐性菌の拡大防止に取り組んでいます。関係省庁が連携して、ワンヘルス・アプローチをすることで畜水産物の安全性の確保に取り組んでいます。

## ■12月：13記事

フォロワー 3,812人

投稿日	記事内容
12/1	<b>【食品安全モニター大募集！！】</b> 食品安全委員会では本日より食品安全モニターを募集中。 食品安全に関する一定以上の知識をもつ方が対象です。国に直接、提案や報告を提出いただくなどの活動をしていただきます。 応募締切は1月23日(金)です ◇ ご応募、お待ちしております ◇
12/3	<b>【食品安全モニター大募集！！】</b> 食品安全委員会では本日より食品安全モニターを募集中。 食品安全に関する一定以上の知識をもつ方が対象です。国に直接、提案や報告を提出いただくなどの活動をしていただきます。 応募締切は1月23日(金) ◇ ご応募、お待ちしております ◇
12/5	＼九州のみなさん／ 福岡のもつ鍋、佐賀海苔しゃぶしゃぶ、長崎のあら鍋、熊本の晩白柚、大分の関さば、宮崎のたまたま、鹿児島のからいもごはん 冬は旨かもんが多かね！ 安全に楽しむため、食品安全モニターになって、地元感覚ば聞かせてほしか 1月23日まで応募まっとうよ！
12/8	内閣府食品安全委員会事務局庁舎移転のお知らせ  内閣府食品安全委員会事務局は、12月8日より次の住所に庁舎移転しました。 なお、電話番号の変更はございません。 新住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-3 虎ノ門アルセアタワー13階
12/10	＼沖縄のみなさん／

	<p>はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。しがやーに島らっきょう、完熟シークワサーがおいしい冬さあ。 安全に楽しむため、食品安全モニターになって、島んちゅの声ちょうだいね。 応募は1月23日まで。 まっちょーいびんどー ~~~~~ V</p>
12/12	<p>＼中国地方のみなさん／ 鳥取の松葉がに、島根のノドグロ、岡山黄ニラ、広島的美酒鍋、山口のふく刺し… 中国地方の冬もおいしいものがいっぱい。 安全に食べるためにその地元の声きかせてほしいけん 応募は1月23日まで。食品安全モニターぜひ応募してくれよのう～！</p>
12/15	<p><b>【モニター募集中！！】</b> 食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月23日(金)です。 お待ちしております</p>
12/17	<p>＼四国地方のみなさん／ 徳島のすだちぶり、愛媛の紅まどんな、香川のしっぽくうどん、高知の文旦 四国の冬も魚に柑橘にうどんとおいしいもの揃い！ 安全に食べるために、地元の声きかせてください 食品安全モニターになりませんか 応募締切1月23日。ぜひ応募しとってや！</p>
12/18	<p>ノロウイルスによる食中毒が多発しています。症状がなくてもノロウイルスに感染している場合があります、そういった方から食品を介して感染が拡大する場合があります。食中毒を防ぐ基本は「手洗い」です！調理器具を清潔にすることも忘れずに。また、食品の中心部分が90秒間以上85℃～90℃の加熱が必要。</p>
12/23	<p>＼北陸・甲信越地方のみなさん／ 富山の氷見ブリ、石川の甘エビ、福井の越前蟹、新潟ののっぺ、山梨のほうとう、長野のりんご、 うまいもんがたくさん、安全に食べるために 食品安全モニターにちょっと参加してくれんけ？ 応募は1月23日までやちゃ。ぜひ応募してみまっし～！</p>
12/24	<p>クリスマスです！肉料理でパーティーを楽しむ方も多いのでは。最近は低温調理が人気ですが、加熱不足で、食中毒になる可能性が高まります。肉の見た目では加熱が十分か判断できないことも…おいしく安全に食事を楽しむため、肉の加熱には十分に殺菌できる温度と時間を確保を。</p>
12/26	<p>＼関東地方のみなさん／ 茨城の干し芋、栃木の寒ざらし大根、群馬の下仁田ねぎ、埼玉の栗の渋皮煮、千葉の落花生、東京のおでん、神奈川の三浦だいこん 冬は関東ならではの味覚が勢ぞろい。 安全に楽しむため、食品安全モニターになりませんか 応募は1月23日まで。待ってんね</p> <p>＼東海地方のみなさん／ 三重の伊勢海老、岐阜の朴葉味噌、金目の煮付け、愛知の八丁味噌鍋…</p>

	<p>冬は東海地方の海の幸と“保存と発酵”の魅力が本領発揮する季節だで。 安全に食べるために、食品安全モニターに応募してちょーよー、お願いするわー。</p>
--	--

食品健康影響評価の審議状況

2025.12.31現在

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和7年 度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和7年 度分	評価終了 注5)
添加物	318		2		316	5	
農薬	1516	57	176	7	1333	43	
うちポジティブリスト関係	546		128	1	417	4	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43		
動物用医薬品	684	6	9	1	674	11	
うちポジティブリスト関係	140		7	1	132		
器具・容器包装	24				24		
汚染物質等	68				68		3
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	22				22		2
プリオン	72		7	1	64		14
かび毒・自然毒	10		1		9		5
遺伝子組換え食品等	425	18	13	4	408	23	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	341	5	12		329	10	
うちポジティブリスト関係	142		10		132	1	
薬剤耐性菌	75	1	8	1	66		1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
栄養成分添加物WG	3		1		2		
香料WG	7				7		
有機フッ素化合物(PFAS)WG	2				2		1
ビスフェノールA WG	1		1				
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3665	87	230	14	3421	92	31

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。  
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。  
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。  
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。  
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したものの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。  
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。  
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

# 委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2025年12月31日現在)

参考2

## I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 テトラサイクリン系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 マクロライド系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 スルフォアミド系合成抗菌剤（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）【再審査】■	1
2005/2/14	厚	農薬 ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）【再審査】■	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆	1
2007/1/12	厚	農薬 ピノキサデン☆	1
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 クロルマジノン☆	1
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆	1
2007/6/5	厚	農薬 スルフェントラゾン☆	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン〈一部〉☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆	1
2007/12/18	厚	農薬 イソキサジフェンエチル☆	1
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆	1
2008/3/11	厚	農薬 プロディファコウム☆	1
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆	1
2008/3/25	厚	農薬 ピリデート☆	1
2008/3/25	厚	農薬 フッ化スルフリル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロジナホッププロパルギル☆	1
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆	1
2009/2/9	厚	農薬 オキシデメトンメチル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ジクロラン☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ジノカップ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 フェンプロピモルフ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ベナラキシル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ホレート☆	1
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 アスタキサンチン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-カロテン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 酒石酸 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 トウガラシ色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等及び農薬 乳酸 (対象外物質) ☆	2
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 マリーゴールド色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 メナジオン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 レチノール (対象外物質) ☆	1
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆	1
2010/9/13	厚	農薬 トリクロピル☆	1
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジフルフェンゾピル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジメチピン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 テルブホス☆	1
2010/11/12	厚	農薬 トリアスルフロン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 パラチオン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ビンクロゾリン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 モノクロトホス☆	1
2010/11/15	農	農薬 テルブホス (飼料中) ☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 メトプレレン☆	2
2010/12/10	農	農薬 メトプレレン (飼料中) ☆	1
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆	1
2011/2/10	厚	農薬 クロリムロンエチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 ジスルホトン☆	1
2011/3/25	厚	農薬 プロモキシニル☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン-	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル (飼料中) ☆	1
2011/9/22	厚	農薬 2,4-DB☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆	1
2011/9/22	厚	農薬 アミノピラリド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 イオドスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 クロルスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 シクロキシジム☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ジフェンゾコート☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2011/9/22	厚	農薬 テクナゼン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ニコスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 マレイン酸ヒドラジド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 メトスルフロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 トリベヌロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ピクロラム☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フェノキサプロップエチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ブタフェナシル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フルオメツロン☆	1
2011/10/11	厚	農薬 アトラジン☆	1
2011/10/11	農	農薬 アトラジン (飼料中) ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆	1
2011/11/18	厚	農薬 フェノキシカルブ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 プロスルフロン☆	1
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し (オランダ) ②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ホレート (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 シハロトリン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ジクロルボス及びナレド (飼料中) ☆	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆	1
2012/5/21	厚	農薬 トリデモルフ☆	1
2012/5/21	厚	農薬 フラムプロップメチル☆	1
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フルスルファミド☆	1
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルフェンビンホス (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 シマジン (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 パラチオン (飼料中) ☆	1
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆	1
2013/1/30	厚	農薬 シマジン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 エテホン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 オキサミル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 カルフェントラゾンエチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 クロリダゾン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ターバシル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ピリミホスメチル☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/3/12	厚	農薬 フルシトリネート☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ホルクロールフェニユロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メタミトロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メチダチオン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 レナシル☆	1
2013/3/13	農	農薬 ピリミホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 ジメトエート (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 メチダチオン (飼料中) ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 イマザキン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジウロン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 シプロコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジメトエート☆	1
2013/6/12	厚	農薬 フルキンコナゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 DBEDG■ 〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬 ノニルフェノールスルホン酸銅■ 〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬 イマザモックスアンモニウム塩☆	1
2013/8/20	厚	農薬 ヒメキサゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 メトリブジン☆	1
2013/8/20	厚	農薬 リニュロン☆	1
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン スイスから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/5/14	厚	プリオン リヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し&※	1
2015/12/18	消	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し&※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛の肉及び内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(食品)■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(飼料)■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤(エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%)※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤(アモスタックLA注)※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びメソミル☆	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 クロチアニジン■	2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2022/12/14	農	農薬 アセタミプリド※	1
2022/12/14	農	農薬及び動物用医薬品 クロチアニジン※	1
2022/12/14	農	農薬及び動物用医薬品 ジノテフラン※	1
2022/12/14	農	農薬 チアメトキサム※	1
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬 フサライド※	1
2023/8/31	厚	農薬 ジアフェンチウロン〈一部☆〉	2
2023/11/21	厚	農薬 フルペンチオフェノックス■	1
2024/2/7	厚	遺伝子組換え食品等 Saccharomyces cerevisiae NS470 (CBS 615.94) 株を利用して産生されたα-ガラクトシダーゼ■	1
2024/2/28	厚	かび毒・自然毒 食品中のオクラトキシンAの規格基準の設定についてー	1
2024/8/13	消	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT106 (pHYT2PsBG) 株を利用して生産されたβ-グルコシダーゼ■	1
2025/1/8	消	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6199株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2025/2/10	消	遺伝子組換え食品等 JPAo013株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2025/3/5	農	農薬 アラクロール※	1
2025/3/18	消	その他 (WG等) グルコン酸銅■	1
2025/4/16	消	農薬 アセタミプリドー	1
2025/4/16	消	農薬 アラクロールー	1
2025/4/16	消	農薬 グリホサートー	1
2025/4/16	消	農薬 チアメトキサムー	1
2025/4/16	消	農薬 フサライドー	1
2025/4/16	消	農薬及び動物用医薬品 ジノテフラン■	1
2025/5/21	農	薬剤耐性菌 キノロン系合成抗菌剤が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌■	1
2025/6/19	消	農薬 シアン化水素☆	1
2025/7/30	農	農薬 シアナジン※	1
2025/7/30	消	農薬 シアナジンー	1
2025/7/30	消	農薬 シハロホップブチルー	1
2025/7/30	農	農薬 シハロホップブチル※	1
2025/7/30	農	農薬 プロマシル※	1
2025/7/30	消	農薬 プロマシルー	1
2025/7/30	農	農薬 メタミトロン※	1
2025/7/30	消	農薬 メタミトロンー	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2025/7/31	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ (COR23134) ■	1
2025/8/1	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ (COR23134) (食品) ■	1
2025/9/24	消	農薬 ピラクロストロビン■	1
2025/9/24	消	農薬 フェナザキン■	1
2025/9/24	消	農薬 メトプロムロン■	1
2025/10/22	農	農薬 インダノファン※	1
2025/10/22	農	農薬 トルクロホスメチル※	1
2025/10/22	農	農薬 フェントラザミド※	1
2025/10/22	消	農薬 インダノファンー	1
2025/10/22	消	農薬 トルクロホスメチルー	1
2025/10/22	消	農薬 フェントラザミドー	1
2025/10/22	消	農薬 フェンメゾジチアズ■	1
2025/10/22	消	農薬 フロリルピコキサミド■	1
2025/10/31	消	遺伝子組換え食品等 SGR5株を利用して生産された2'-フコシルラクトース■	1
2025/11/19	農	肥料・飼料等 たん白質の加水分解により製造された塩酸L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物■	1
2025/12/10	農	農薬 ピロキロン※	1
2025/12/10	農	農薬 S-メトラクロール※	1
2025/12/10	消	農薬 アシノナピル■	1
2025/12/10	消	農薬 イプトリアゾピリド■	1
2025/12/10	消	農薬 ピロキロンー	1
2025/12/10	消	農薬 メタラキシル及びメフェノキサム■	1
2025/12/10	消	農薬 メトラクロールー	1
2025/12/10	消	遺伝子組換え食品等 DN-E4株を利用して生産されたL-エルゴチオネイン■	1

230

(注)

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

## Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2025/7/23～2025/8/21	■ ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミシンS（静注用）） 【再審査】	1
2025/9/10～2025/10/9	☆ ピペロニルブトキシド	2
2025/9/10～2025/10/9	☆ ピペロニルブトキシド	1
2025/11/5～2025/12/4	※ ベンゾビシクロン	1
2025/11/5～2025/12/4	－ ベンゾビシクロン	1
2025/11/26～2025/12/26	■ pLps株を利用して生産されたリパーゼ	1
2025/11/26～2025/12/26	■ Escherichia coli K-12 W3110 (pWKLP2) 株を用いて生産されたブシコースエピメラーゼ	1
2025/12/24～2026/1/22	※ ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について	1
2025/12/24～2026/1/22	－ エチプロール	1
2025/12/24～2026/1/22	※ エチプロール	1
2025/12/24～2026/1/22	■ ニトラピリン	1
2025/12/24～2026/1/22	■ Trichoderma reesei RF5427株を利用して生産されたキシラナーゼ	1
2025/12/24～2026/1/22	■ STG2208株を利用して生産されたβ-ニコチンアミドモノヌクレオチド	1

14

(注)

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/4/4	消	農薬 イソシクロセラム■	1
2025/4/4	消	農薬 シクロピラニル■	1
2025/4/9	消	肥料・飼料等 アセチルシステイン■	1
2025/4/9	農	肥料・飼料等 アセチルシステインを有効成分とする飼料添加物■	1
2025/4/18	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（L-グルタミン酸カリウム、マルトース）※	2
2025/4/22	消	肥料・飼料等及び農薬 オキシリニック酸 ■	2
2025/4/23	消	遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統（食品）■	1
2025/4/23	農	遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統（飼料）■	1
2025/4/23	消	農薬 チフルザミドー	1
2025/4/23	消	農薬 ブタクローラー	1
2025/5/14	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2025/5/14	農	動物用医薬品 食品健康影響評価についてく牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症混合ワクチン（シード）（キャトルマスターF P5）■	1
2025/5/14	農	動物用医薬品 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（シード）（プリバセントPRRS20、同50、同100）■	1
2025/5/20	農	農薬 クロルベンジレート☆	1
2025/5/28	厚	農薬 クロルタールジメチル☆	1
2025/5/28	消	農薬 マンジプロパミド■	1
2025/6/4	消	肥料・飼料等 ジニトルミド☆	1
2025/6/4	消	農薬 ベンジルアデニン■	1
2025/6/4	消	農薬 スピロジクロフェン■	1
2025/6/4	農	肥料・飼料等 Trichoderma reesei RF5427株を利用して生産されたキシラナーゼを原体とする飼料添加物■	1
2025/6/4	農	肥料・飼料等 塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする馬の点眼剤（ロメワン）（再審査）■	1
2025/6/4	農	動物用医薬品 d-クロプロステノールナトリウムを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ダルマジシンク）■	1
2025/6/12	農	農薬 キノクラミン※	1
2025/6/12	消	農薬 キノクラミンー	1
2025/6/25	消	農薬 エスプロカルブ※	1
2025/6/25	消	農薬 エタボキサム■	1
2025/6/25	消	農薬 スピネトラム■	1
2025/6/25	消	農薬 トリフロキシストロビン■	1
2025/6/25	消	農薬 ピカルブトラゾクス■	1
2025/6/25	消	農薬 ポリオキシンド亜鉛塩■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/6/26	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2025/6/26	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 JAPAN011株を利用して生産されたセルラーゼ■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 AH-No. 1株を利用して生産されたL-カルノシン■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 ILE-No. 2株を利用して生産されたL-イソロイシン■	1
2025/7/3	消	農薬 メピコートクロリド■	1
2025/7/7	農	動物用医薬品 マイコプラズマ・シノビエ感染症凍結乾燥生ワクチン（シード）（ボックスオンMS生ワクチン）■	1
2025/7/9	農	肥料・飼料等 グアニジノ酢酸を有効成分とする飼料添加物■	1
2025/7/10	消	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2025/7/10	農	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2025/7/16	消	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■	2
2025/7/16	農	農薬 イミダクロプリド※	1
2025/7/23	農	動物用医薬品 グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（フォーセリス注射液）■	1
2025/7/23	農	動物用医薬品 ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ケトフィス）■	1
2025/7/23	消	農薬 オキサゾスルフィル■	1
2025/8/4	消	農薬 スピロピジオン■	1
2025/8/28	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	厚	添加物 次亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	厚	添加物 二酸化硫黄■	1
2025/8/28	厚	添加物 ピロ亜硫酸カリウム■	1
2025/8/28	厚	添加物 ピロ亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	農	農薬及び動物用医薬品 フィプロニル※	1
2025/8/28	消	農薬及び動物用医薬品 フィプロニルー	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/9/4	農	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF8694株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 VAL-No. 6株を利用して生産されたL-バリン■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ KWS20-1系統（食品）■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ KWS20-1系統（飼料）■	1
2025/9/4	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（大腸菌J5株由来成分）※	1
2025/9/11	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2025/9/11	農	遺伝子組換え食品等 ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン■	1
2025/9/11	農	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラン※	1
2025/9/11	農	農薬 チアジニル※	1
2025/9/11	消	農薬 メプロニル■	1
2025/9/11	消	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラー	1
2025/9/11	消	農薬 チアジニルー	1
2025/10/3	消	遺伝子組換え食品等 NGX株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2025/10/3	消	農薬 イソチアニル■	1
2025/10/3	消	農薬 チオベンカルブー	1
2025/10/3	消	農薬 バリダマイシン■	1
2025/10/8	農	動物用医薬品 いのしし用の国産豚熱経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性※	1
2025/10/16	農	肥料・飼料等 たん白質の加水分解により製造されたL-イソロイシンを原体とする飼料添加物■	1
2025/10/16	農	肥料・飼料等 L-カルニチンを有効成分とする飼料添加物■	1
2025/10/30	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ワタMON15947系統（食品）■	1
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統（食品）■	1
2025/11/12	農	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統（飼料）■	1
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ダイズMON94637系統（食品）■	1
2025/11/12	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ダイズMON94637系統（飼料）■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT106 (pHYT2MPM) 株を利用して生産されたマルトースホスホリラーゼ■	1
2025/11/26	消	遺伝子組換え食品等 高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ44406系統の掛け合わせ品種■	1
2025/11/26	農	肥料・飼料等 けい酸加里肥料■	1
2025/12/3	厚	農薬 スルホスルフロン☆	1
2025/12/3	厚	農薬 ペンチオピラド■	1
2025/12/18	消	農薬 キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル■	1
2025/12/18	消	農薬 ピフルブミド■	1
2025/12/18	消	農薬 フェンメディファムー	1
2025/12/24	消	農薬 ボスカリド■	1
2025/12/24	消	遺伝子組換え食品等 KY10995/pAM7-122株を利用して生産された5-アミノレブリン酸リン酸塩■	1

92

(注)

- : 食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）
- ☆ : ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件
- ※ : 食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件
- : 食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）
- ◎ : 食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件
- 11-1 : 食品安全基本法第11条第1項第1号案件
- 11-2 : 食品安全基本法第11条第1項第2号案件

IV その他（令和7年度）

通知日	通知先	件名
2025/4/23	消	食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年厚生省告示第370号）を改正すること
2025/5/14	農	家畜伝染病予防法施行規則（昭和26年農林省令第35号）の一部改正について
2025/5/14	農	家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第62条第1項に基づく政令指定について
2025/5/14	厚	と畜場法施行規則（昭和28年厚生省令第44号）の一部改正について
2025/5/28	消	食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第3 器具及び容器包装の部A 器具若しくは容器包装又はこれらの原材料一般の規格の項第9款に規定する安全性審査の手續の制定
2025/6/19	農	家畜伝染病予防法施行令の一部改正について（高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの対象家畜追加）
2025/11/12	農	飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律第二条第三項の規定に基づく飼料添加物を定める件（昭和51年農林省告示第750号）の改正
2025/11/12	農	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令別表第2の8の改正（飼料添加物の規格基準の規定順改正）
2025/12/23	農	肥料の品質の確保等に関する法律第3条第1項に基づく普通肥料の公定規格の改正について（被覆複合肥料）